

令和5年度の教育活動等に対する学校評価書

令和6年3月4日
学校法人貴庵寺学園リリー幼稚園長 川柳玄弘

1 幼稚園の教育目標

心ゆたかにたくましく生きる子

2 本年度の重点課題

- ①体験から学べる環境構成
- ②子ども同士の交流を深める環境構成
- ③身体を動かせる環境構成

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価委員結果

No.	評価項目	具体的な取り組み	自己評価	評価	学校関係者評価委員会から
1	保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが自ら「あいさつ」をすることができる。 ・ 子どもの興味関心を保育につなげる。 	B	A	来園すると「こんにちは」と挨拶してくれる子がいて清々しい気持ちになった。興味関心を保育に繋げ発展させているのがとても良い。
		自らあいさつをすることができる子どもが増えてきている。子どもの興味関心(遊び)から行事などの保育につながっていた。			
2	保育のあり方 幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの良い所、がんばりをたくさん見つける。 ・ 子どもの育ちに対応した保育 	A	A	小さなことでも褒めて自信を持たせて、さらに少し上の成長に繋げていこうとする先生の心がけが良いと思う。子どもたちの表情や作品に成果が表れている。
		個々に対しての良い所やがんばりを見つけ褒めることができていた。子どもたちの中にも何度も挑戦する姿があり、できた時の表情が達成感に満ちあふれていた。			
3	保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ アプリ「おうちえん」の活用。 ・ 懇談会、面接、電話で子どもの様子を伝える。 	B	B	おうちえんによってタイムリーな園での様子が伝わり安心感につながる。親で画像を見ながら園の話題で盛り上がったことと思う。
		今年度より「おうちえん」を使い、園での様子を写真、動画で配信するようになった。保護者には以前よりも園の様子が詳しく伝わったと思われる。			
4	地域の自然や 社会とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に配慮して、園周辺を散策して自然に触れる。 ・ 定期的にリリー農園に出かけ、生長の観察をする。 	C	B	農園の問題などもめると思うが地域との関わりを持つと努力しているしているのが分かる。園外へ出かけて持ち帰る木の実やお花で一日の様子が伝わります。家庭での話題も増えます。散歩に出かける時間も確保してほしい。
		10月いっぱいまで畑の契約が切れて使用できなくなったので冬の作物の栽培、収穫ができなかった。散歩に出かける機会も減っていた。			
5	研修と研究	<p>「子どもの可能性を發揮できる教師の援助や環境は何か」について研究する。(静岡地区私立幼稚園協会研修テーマ)</p>	C	B	先生がそれぞれ工夫していて、保育室の中はいつも楽しそうに見える。保育の在り方、幼児への対応を深く検証していけばよい研修になると思う。個々の学びが全体のものになっていくことを期待する。
		研修テーマの環境について工夫をしているクラスもあれば、年間を通して変わらないクラスもあった。園に来るのが楽しいと思える環境を構成する必要がある。			

- * 結果の表示方法
- A 達成されている
 - B ほぼ達成されている
 - C 取り組まれているが、成果がやや不十分
 - D 努力を要する

4 本年度の総合的な評価結果

長縄、鉄棒等できるまで挑戦する姿が見られた。出来たことが自信となり何事にも意欲的に活動する姿が見られた。クラスでの活動も、子どもに問いかけて子どもたちで相談し考えて行動できるよう保育を進めた。本年度より、アプリ「おうちえん」を導入し、保護者に園の様子を写真、動画で配信した。保護者にとっては普段の保育の様子を見ることができ情報の共有もできたと思われる。
静岡地区私立幼稚園協会の研修テーマ「子どもの可能性を発揮できる教師の援助や環境は何か」を園内で共有・活用してより良い方向にもっていくことができなかった。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
園内外の研修の充実	保育、安全、救急等、園内外の研修を行う。 (静岡地区私立幼稚園協会の研修を園内にて有効に使う。)
園庭開放	園庭開放等を通して園児と未就園児との関りの場を増やしていく。